

2004年新潟県中越地震 調査速報

塩原・楠原・田尻（東京大学）・Mosalam（University of California Berkeley）

10月27日（水曜日）

今日は、柏崎から長岡を経由して小千谷に入り柏崎にもどりました。長岡の大部分と小千谷のかなりの地区で電力が復旧し、町に活気もどってきました。小千谷でもかなりのコンビニエンスストアがひらいています。また長岡では、上水道が復旧してきており、通常営業の店も増えつつありました。

小千谷では大きな余震を感じました。信号のポールが大きく左右に揺れたその振幅の大きさには驚かされました。

小千谷では、信濃川をはさんで、小千谷総合病院付近と、JR小千谷駅裏あたりで特に被害の大きいRC造S造の建物が見られました。小千谷総合病院には、既に大成建設の人が入り調査が始まっているようです。理研精機敷地内の、RC2F 工作室は、典型的な短柱破壊を伴う、倒壊寸前の大破で、新潟県の業者が設計施工したとこのことで今は後片付けをしていました。理研事務室棟は、構造被害は見られませんが、H14年完成でありながら、間仕切りや天井など非構造部材の被害が著しく、詳細な調査が可能のようでした。

それに対して学校建物はどこでもほとんど被害がみられませんでした。

1階がRCで2・3階が木造の3階建て住宅が多くみられましたが、被害はほとんど見ませんでした。

また、レポートできるような被害例がかなり集まったので、Mosalam 先生と協力して、英文でReconnaissance Report もまとめたいと考えています。

以下に、今日の行程の報告をします。行程と概略の時間を記しておきますので、参考にしてください。

6:30am ころ 柏崎出発

国道8号を日吉町右折して、国道252号を南西。途中から国道291号にそれると山間地帯に入る。このあたりから地滑りがあちこちで見られ、屋根のブルーシートが見られる。

7:20am ころ 七日町左折国道404号を北進。

下小国小学校 RC2F 無被害

千谷沢地区 石積みの擁壁崩壊

塚山地区あたり 大谷石積みの塀転倒・崩壊多し

8:20am ころ 長岡市立深沢小学校

RC造3F（無被害）+ 鉄骨造体育館（軽微）

ブレース座屈、体育館ガラス割れ(10枚程度)

来迎寺から県道10号線に折れ南下



8:50amごろ 片貝地区

Acoop 片貝 商業施設 S造2階建て ALCパネル 軽微

ALCパネルの接合部目地にクラック圧壊が多数見られる。

昭45年築



9:35amごろ 小千谷工業団地

新潟SANYO電子（会社寮）

SRC造10階（小破）

周囲の地盤の沈下

北面と南面の3～8階の一部の柱型の軽微なせん断ひび割れ

11:00amごろ 小千谷市民体育館 鉄骨造体育館小破、ガラス落下、外装材落下

余震 震度5強を感じる



小千谷総合病院（小千谷市本町1丁目）
RC造 2F で北側の柱のせん断破壊（損傷度V）



小千谷調剤薬局
RC造 4F 東側1階柱脚、曲げ降伏後の主筋座屈とかぶりコンクリートの落下（損傷度V）



二荒神社：石造の鳥居の倒壊、神輿の入った倉の入り口の庇屋根の倒壊
高さ4メートル 太さ 50cm角の石柱の折損（花崗岩、掘立て柱構造）



小千谷高等学校（小千谷市旭町）
RC3FおよびRC4F 鉄骨造体育館
被害認められず

東小千谷中学校（小千谷市東栄3丁目）
RC4Fおよび 鉄骨造体育館
被害認められず

2:20 pmごろ

理研精機（小千谷市JR小千谷駅裏）

- ・ RC2F 工作室（老朽化のため現在使用されておらず。S44年築）
大破
詳細調査を行った。2x5スパン。短柱のせん断破壊。丸鋼材。90度フック。
フープ間隔 250 mm。
- ・ 鉄骨造2F 事務所棟（構造的には目立った被害はなし）
内部の非構造部材に著しい被害
エントランガラス破損、内部の事務室の天井落下、間仕切り壁の転倒



3:30 pmごろ
アピック石田 (小千谷市JR小千谷駅裏)
・S5F工場
中破
ラスモルタルの外壁落下
かなり古い



KSエンジニアリング（小千谷市JR小千谷駅裏）

RC4F 工場（かなり老朽化）

大破

4:00 pmごろ

小千谷を出発。県道10号、県道23号を経て国道17号（長岡東バイパス）で長岡市街地。

長岡東バイパスと上越新幹線が交わる地点から南に数百メートルの地点に、脱線した列車が見える。既に薄暗く調査は断念。

長岡からは、国道8号線を使って6:30pmごろ柏崎に戻る。

以上